株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号　三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168－0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120－782－031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載 URL（http://www.sunwa.co.jp/ir3/ir_info）

・**住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・**未払配当金の支払について**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・**「配当金計算書」について**
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

＊確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

サンワテクノス株式会社
東京都中央区八重洲二丁目8番7号（福岡ビル）
TEL.03-5202-4011　FAX.03-5202-4054

株式会社プロネクサス　印刷

SUNWA

第66期 株主通信

自 平成25年4月1日　至 平成26年3月31日

サンワテクノス株式会社

証券コード8137

エンジニアリング力の強化と組織改革を実行し、良質のグローバルサービスを提供する

代表取締役社長　山本　勢

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

当期の業績は、電機・電子・機械の3部門とグローバルネットワークの強化・連携を基軸とした全社員の努力、お取引先様のご支援により、前計画で実現できなかった連結売上高1,000億円（過去最高の売上高、経常利益、当期純利益）を達成し、現在遂行している第8次中期経営計画「JUMP1200」の1年目として好スタートを切ることができました。

当期の利益配当につきましては、株主の皆様への日頃のご支援に報いるべく、期末配当を1株当たり12円とし、中間配当（1株当たり10円）と合わせ、年間配当22円とさせていただきました。

エンジニアリング力を付加した複合ビジネスを積極的に展開

現在、海外事業は低迷していた中国市場に回復の兆しが見え、ASEAN市場が堅調に伸びる中、社員の現場での的確な情報収集による積極的な提案活動の過程で、昨年以降、ベトナム（ハノイ）、台湾（台中）に営業拠点を開設し、現場密着営業のさらなる強化を図っています。

一方、国内市場はお客様の量産品の生産が海外に移転する中で、少子高齢化による自動化と生産効率向上を志向したロボットシステムや、東日本大震災以降さらに高まる省エネ・省電力ニーズに応えた環境・エネルギー分野のビジネスが着実に伸びています。

成長市場の開拓を積極的に進める（新エネルギー分野、省力化分野など）
（写真は双腕ロボット、パワーコンディショナ、ACサーボドライブ、LED照明）

「JUMP1200」の2年目も、独自の営業提案力と経営効率化を図る社内管理体制の強化、迅速・確実な製品提供を実践する業務施策などの取り組みを通して、全社一丸で計画を遂行しており、その中で特に、積極的に推進している電機・電子・機械の複合ビジネスに“エンジニアリング力”をプラスし、新たなビジネス領域の開拓と技術商社としての存在価値の向上を目指しているところです。

海外でもアメリカの実績に続き、タイや上海メカトロセンターで取り組むデモンストレーションを含めた設備関連ビジネスを一つのモデルとして、当社グループ全体でエンジニアリング力の向上と、サービス体制の整備強化に取り組んでいます。

機能や利用技術を提案する「営業革新」に挑む

当社は、仕入先様の優れた製品を組み合わせたシステム提案などにより、お客様の課題やニーズに対してハード・ソフト両面から最善のシステムをご提供することが使命です。今後は個々の製品性能だけではなく、機能や利用技術の提案によってお客様の生産効率化や製品の性能向上に貢献する「営業革新」に取り組みたいと考えています。

例えば、環境・省エネ、医療、食品、インフラなどの成長市場では、従来自動車産業が中心だったロボットの応用展開をはじめ、人の生活を快適にするためにいかに活用していくかという視点が重要です。成長市場の進化に合わせて、仕入先様が持つ要素技術を活かす当社独自のアイデアを提案し、新事業の柱を築いていきます。現在は展示会などでも、仕入先様の幅広い製品群を駆使した具体的な活用事例、利用形態の提案を行い、ご好評をいただいています。

また、太陽光発電などのプロジェクトでは、その技術やシステムに詳しい人材を結集し、お客様の利益を考えた新たな販売手法、ビジネスモデルの創出に取り組んでいきます。

グローバルロジスティック機能の拡充強化を目指し、昨年10月に開設した香港物流センター

グローバルな観点から 組織改革と人事交流に取り組む

一方、組織については、次世代の若手幹部が新たな取り組みに挑戦しやすい環境整備を狙い、新任役員を3名選出するとともに各役員の管掌業務を最適化するなど、ビジネス環境の変化に呼応した組織改革、人事交流に取り組んでいます。

まず販売面では、現在お客様の生産拠点が世界に広がり、ビジネスがエリアを越えてグローバル化する環境下で、技術系スタッフが横断的に動き、世界各地で同じ質の技術サービスをご提供できる組織体制を構築します。また、お客様基軸での共通情報を全エリアに発信するグローバルマネージャー制を導入し、従来からのエリア基軸の現場密着営業と合わせて、大局的視点からビジネスの全体最適化を図る営業本部の機能を強化していきます。

さらに、香港物流センターを中核とするグローバルロジスティックでお客様のSCM（サプライ・チェーン・マネージメント）の改善向上を目指します。お客様の経営効率化につながる調達代行などを通して、一歩踏み込んだ付加価値の高いサービスを実現し、そのノウハウを当社のお客様共通のビジネス基盤として整備していきます。

管理組織についても、従来からのCSRの取り組みに加えて、海外現地法人9社を含めたグローバルな観点から営業を支援できる体制を構築するため、現場力強化に資する人事交流を活性化させていく予定です。

グループの総合力で さらにご評価いただける企業に

当社の事業基盤は人材です。従来からのメーカー研修に加え、「入社3年ひとり立ち」研修や、新人を立派な社会人にするための育成プランを実行するマンツーマンリーダーの研修、また社員のモチベーション向上を図る改善活動（各種キャンペーン）などに積極的に取り組んでいます。

今後も「人を創り 会社を興し 社会に尽くす」の社是のもと、さらに企業価値を高めるための経営基盤を着実に整備していく過程で、来年は次世代幹部を中心に、次の中期経営計画の策定にも着手します。全社員で10年先のあるべき企業像のグランドデザインを描き、当社グループの総合力で技術商社としての存在価値を高め、株主の皆様から長期的にご支援・ご評価いただける企業に成長していきます。

第８次中期経営計画（JUMP1200）

～サンワテクノスグループとして大きく飛躍し、連結売上高1,200億円を目指す～

◆経営目標

【連結】 （単位:百万円）

	第66期（平成25年度）	第67期（平成26年度）	第68期（平成27年度）
売上高	98,000	110,000	120,000
営業利益	3,100	3,700	4,400
経常利益	3,400	4,000	4,700
当期純利益	2,000	2,500	2,850
売上高経常利益率	3.5%	3.6%	3.9%

世界で活躍する真のグローバルカンパニーを目指し、
常に成長し続ける強い技術商社としてのサービスを提供する

- 最終年度　第68期（平成27年度）
  連結売上高 1,200億円
- 売上高経常利益率 3.5%以上を継続的に確保

◆方針

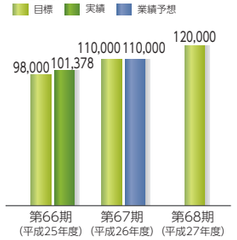
- グローバル展開による事業の更なる拡大
- 独自の提案と技術力による企業価値の向上
- 市場動向を先取りし、迅速な対応で顧客満足を追求
- 筋肉質の企業体質を進め、収益力向上
- CSR経営を進める

◆重点施策

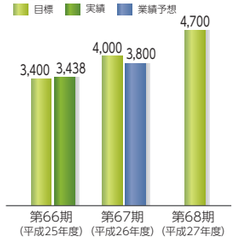
- 電機・電子・機械の複合ビジネスとエンジニアリング力を最大限発揮できる組織の構築
- 新興国を始め、海外事業を更に拡大する
- 成長市場の開拓を積極的に進め、新規事業の確立を目指す
- グローバルロジスティック機能の拡充強化
- サンワテクノスグループの管理体制整備
- 社是を基本とした人材教育体系を確立

◆進捗

売上高
（単位:百万円）



経常利益
（単位:百万円）

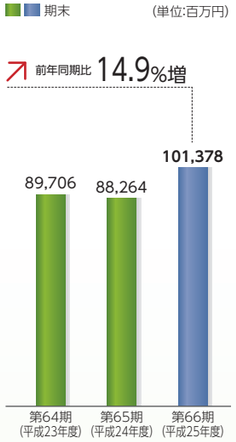


SUNWA

売上高

1,013億78百万円

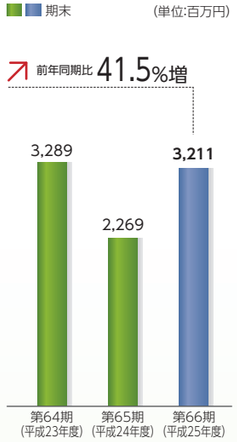
前年同期比 131億14百万円増



営業利益

32億11百万円

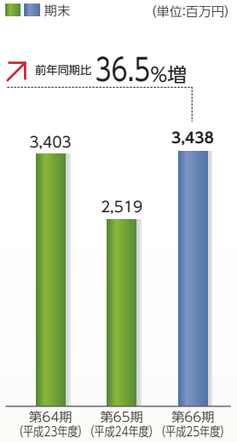
前年同期比 9億41百万円増



経常利益

34億38百万円

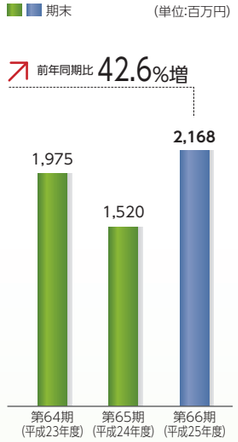
前年同期比 9億18百万円増



当期純利益

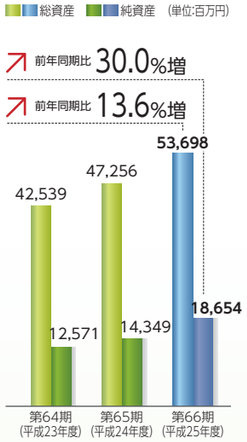
21億68百万円

前年同期比 6億47百万円増



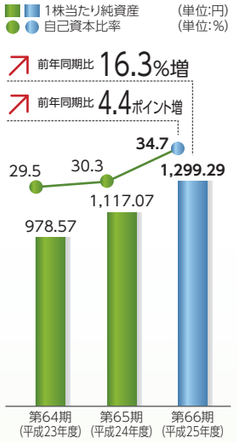
総資産／純資産

総資産	536億98百万円
純資産	186億54百万円
総資産前年同期比	64億42百万円増
純資産前年同期比	43億 5百万円増



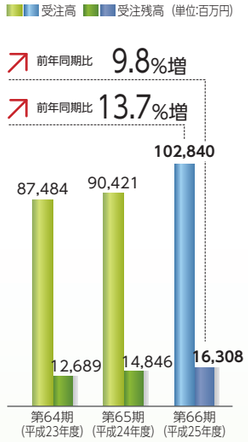
1株当たり純資産／自己資本比率

1株当たり純資産	1,299円29銭
自己資本比率	34.7%



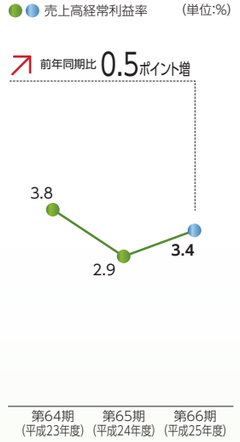
受注高／受注残高

受注高	1,028億40百万円
受注残高	163億 8百万円
受注高前年同期比	124億19百万円増
受注残高前年同期比	14億62百万円増



売上高経常利益率

3.4%



決算ハイライト

当連結会計年度における日本経済は、政府の経済政策や金融政策の効果等により景気は緩やかに回復しているものの、米国の金融緩和縮小の影響や新興国経済の先行きへの不安などによる海外景気の下振れが、日本経済の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連します産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、低迷していた中国市場に回復の兆しが見えてきました。また、スマートフォン向けの需要や新エネルギー関連需要の高まりなどもあり、電子部品関連業界、産業機械業界の受注環境は改善傾向で推移しております。

このような環境の中で当社グループは、第８次中期経営計画（JUMP1200）の初年度として、新たな取り組みをスタートさせており、当連結会計年度の業績は、前年同期を大幅に上回り、過去最高の業績を更新することができました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、消費税率引上げに伴う需要の反動や米国の金融緩和縮小の影響及び新興国経済の先行きへの不安等のリスクはあるものの、政府の経済政策や金融政策の効果等により景気は緩やかに回復していくことが期待されます。当社グループの関連する半導体関連業界、産業機械業界におきましても、海外経済の下振れリスクにより、先行き予断を許さない状況ですが、旺盛なスマートフォン向けの需要や企業収益の改善等を背景に設備投資は持ち直し傾向が続くことが見込まれることから、緩やかな成長を維持するものとみられます。

第67期　通期業績予想

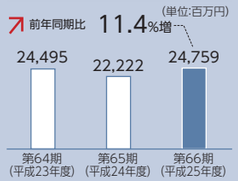
売上高	110,000百万円	（前年同期比8.5%増）
営業利益	3,600百万円	（前年同期比12.1%増）
経常利益	3,800百万円	（前年同期比10.5%増）
当期純利益	2,350百万円	（前年同期比8.4%増）
1株当たり当期純利益	163円68銭	

（注）業績予想につきましては、平成26年5月8日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

電機部門

売上高構成比率 24.4%

売上高
247億59百万円
前年同期比 25億36百万円増



電機部門では、新エネルギー関連の需要は引き続き増加傾向で推移しており、太陽光発電システム向けの制御機器等の販売が大幅に増加いたしました。また、産業機械業界向けのモータ等の販売も増加傾向で推移しております。一方で有機EL生産設備の需要減少により前年同期に比べ真空ロボットの販売が減少いたしました。

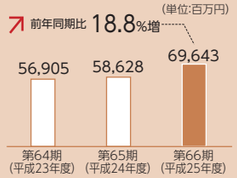
主な営業品目
ACサーボモータ、リニアモータ他各種モータ、インバータ、マシンコントローラ、マシンビジョンシステム、半導体製造装置用クリーンロボット・真空ロボット、パワーコンディショナ、受変電設備及び工事等

ACサーボモータ

電子部門

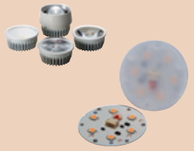
売上高構成比率 68.7%

売上高
696億43百万円
前年同期比 110億14百万円増



電子部門では、工作機械業界向け、自動車関連機器向け及びPOSシステムや自動販売機向けなどの電子部品の販売が増加いたしました。一方で携帯電話基地局のインフラ設備向けの電子部品の販売が前年同期に比べ減少いたしました。

主な営業品目
電源、コネクタ、半導体、センサ、小型ファン、LED（発光ダイオード）、LCD（液晶ディスプレイ）、産業用パソコン、CPUボード、メモリモジュール等の各種電子部品及び機器等

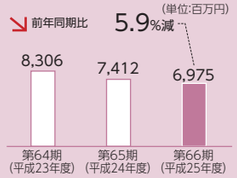


LED照明モジュール

機械部門

売上高構成比率 6.9%

売上高
69億75百万円
前年同期比 4億37百万円減



機械部門では、自動車業界向けなど一部設備投資の動きが高まってきたこともありロボットをはじめ一部設備機器の販売は増加いたしましたが、全体的に設備投資は弱い動きで推移いたしました。

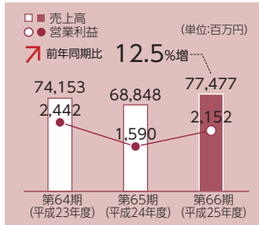
主な営業品目
半導体関連製造設備、産業用ロボット、液晶・パネル搬送用クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、空調・厨房設備、環境保護機器及び装置、各種検査装置、医療機器等

双腕ロボット

SUNWA

日本

売上高構成比率 71.4%

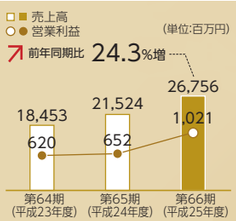


売上高 774億77百万円（前年同期比 86億29百万円増）
営業利益 21億52百万円（前年同期比 5億62百万円増）

国内における設備投資は弱い動きで推移いたしましたが、成長市場である新エネルギー分野における太陽光発電システム向けの制御機器の販売は増加し、工作機械業界向け、自動車関連機器向け及びPOSシステムや自動販売機向けなどの電子部品の販売も増加いたしました。

アジア

売上高構成比率 24.5%

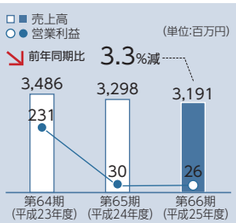


売上高 267億56百万円（前年同期比 52億32百万円増）
営業利益 10億21百万円（前年同期比 3億68百万円増）

アジア地域では、PLC、インバータ、サーボモータ及び太陽光発電システム向けの電子部品の販売が増加いたしました。一方でスマートフォン製造設備向けの電子部品の販売は在庫調整等のため、一時減少いたしました。

欧米

売上高構成比率 2.6%

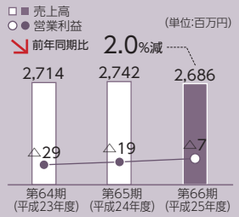


売上高 31億91百万円（前年同期比 1億7百万円減）
営業利益 26百万円（前年同期比 4百万円減）

欧米では、インバータ、サーボモータ向けの電子部品の販売が増加いたしましたが、電力インフラ向けの制御機器及び生産設備機械の販売が減少いたしました。

その他 ※

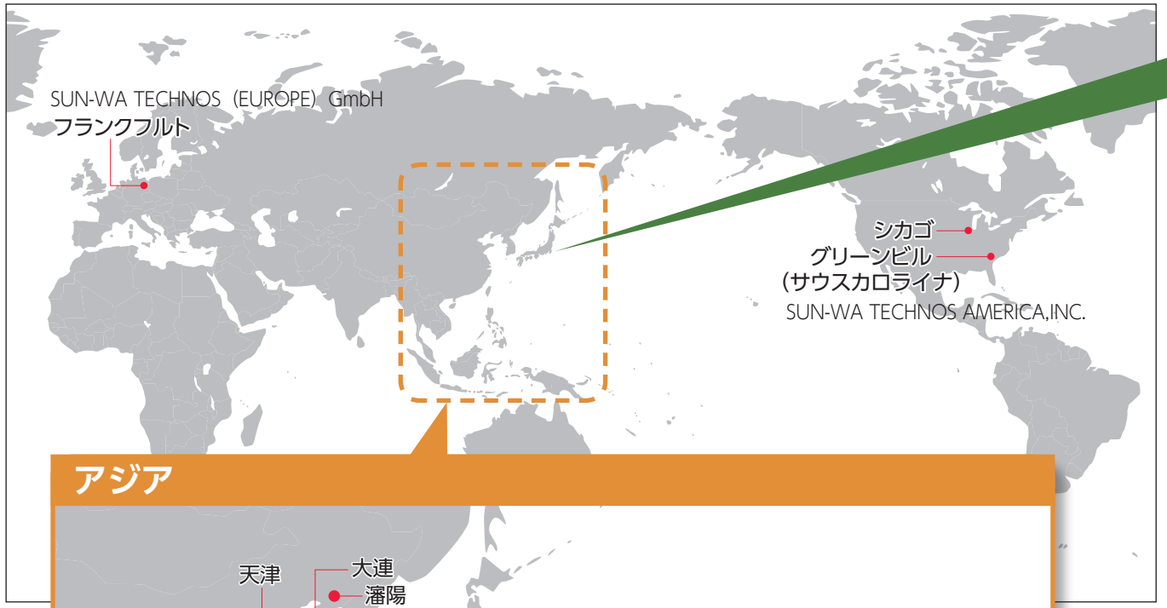
売上高構成比率 1.5%



売上高 26億86百万円（前年同期比 55百万円減）
営業利益 △7百万円（前年同期比 11百万円増）

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

（注1）売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
（注2）上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。

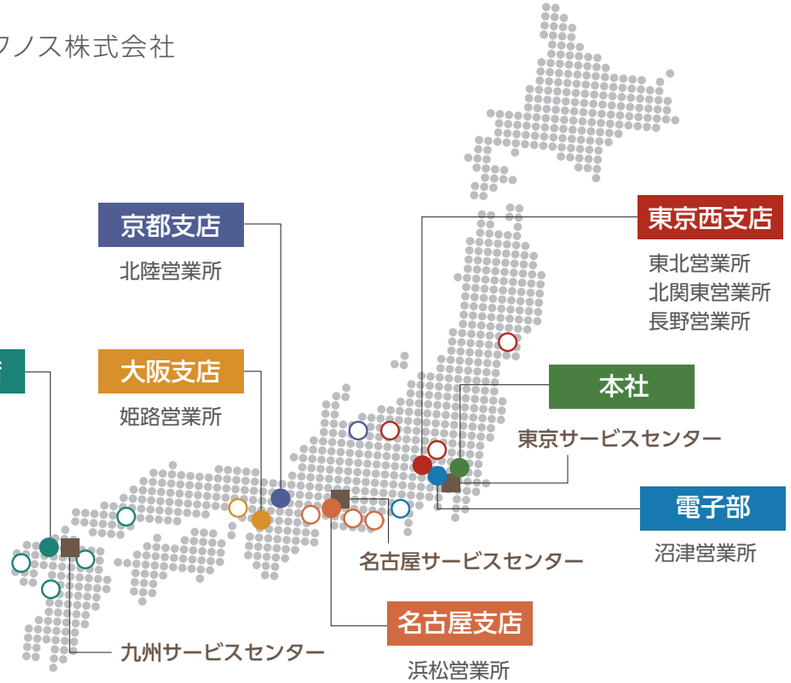


アジア

SUN-WA TECHNOS（SINGAPORE）PTE LTD.
SUN-WA TECHNOS（H.K.）CO.,LTD.
SUN-WA TECHNOS（TAIWAN）CO.,LTD.
SUN-WA TECHNOS（MALAYSIA）SDN.BHD.
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO.,LTD.
SUN-WA TECHNOS ASIA（THAILAND）CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS（SHENZHEN）CO.,LTD.

国内

サンワテクノス株式会社



サンワテスコム株式会社
サンワトリニティ株式会社
サンワロジスティック株式会社

各拠点の住所と連絡先は当社ホームページ「事業所／関連会社」をご覧下さい。
http://www.sunwa.co.jp/ サンワテクノス 検索

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目／期別	前期 平成25年3月31日現在	当期 平成26年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	39,758	45,329
固定資産	7,497	8,369
有形固定資産	4,074	4,038
無形固定資産	42	76
投資その他の資産	3,381	4,254
資産合計	47,256	53,698
（負債の部）		
流動負債	28,648	30,735
固定負債	4,258	4,309
負債合計	32,907	35,044
（純資産の部）		
株主資本	13,660	16,807
その他の包括利益累計額	646	1,847
少数株主持分	41	–
純資産合計	14,349	18,654
負債及び純資産合計	47,256	53,698

連結損益計算書

（単位：百万円）

科目／期別	前期 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	当期 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高	88,264	101,378
売上原価	77,295	88,697
売上総利益	10,968	12,680
販売費及び一般管理費	8,699	9,469
営業利益	2,269	3,211
営業外収益	363	371
営業外費用	114	144
経常利益	2,519	3,438
特別利益	–	41
特別損失	0	1
税金等調整前当期純利益	2,518	3,478
法人税、住民税及び事業税	966	1,385
法人税等調整額	29	△73
少数株主損益調整前当期純利益	1,523	2,166
少数株主利益又は少数株主損失（△）	2	△1
当期純利益	1,520	2,168

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目／期別	前期 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	当期 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,652	△1,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△415	769
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	236
現金及び現金同等物の増減額	3,262	△496
現金及び現金同等物の期首残高	3,687	6,949
現金及び現金同等物の期末残高	6,949	6,453

SUNWA

会社の概要

（平成26年3月31日現在）

商号	サンワテクノス株式会社
本社所在地	〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目8番7号（福岡ビル）
設立年月日	昭和24年11月4日
資本金	25億5,300万円
発行済株式の総数	14,438,000株
従業員数	438名（連結812名）
ホームページ	http://www.sunwa.co.jp/
事業内容	メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事 各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FAシステム、通信・情報機器等の販売 半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、各種検査装置、医療機器等の販売

役員

（平成26年6月26日現在）

代表取締役会長	山田 益二郎
代表取締役社長	山本 勢
専務取締役	田中 裕之
常務取締役	福田 均
常務取締役	五十嵐 正憲
常務取締役	三根 省一郎
取締役	牧野 利彦
取締役	花山 一八
取締役	村上 信哉
取締役	後藤 潔
取締役	田中 八重子
常勤監査役	青柳 繁
※監査役	石川 勲
※監査役	安國 一
※監査役	小林 純

※監査役 石川勲、安國一及び小林純の3氏は、社外監査役であります。

株式の状況

（平成26年3月31日現在）

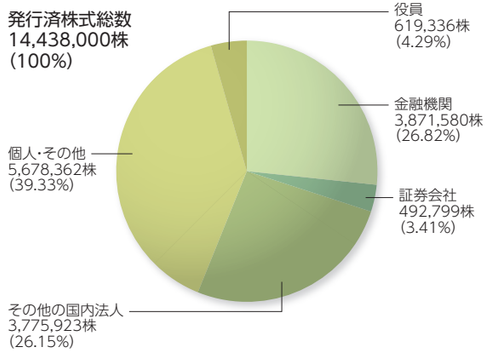
1. 発行可能株式総数 33,380,000株
2. 発行済株式の総数 14,438,000株
3. 株主数 3,587名
4. 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社安川電機	797,280 株	5.55 %
第一生命保険株式会社	729,960	5.08
株式会社りそな銀行	545,160	3.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	545,160	3.79
オリジン電気株式会社	498,000	3.46
オークマ株式会社	435,600	3.03
株式会社損害保険ジャパン	396,000	2.75
山田 益二郎	392,200	2.73
JPMCC CLIENT SAFEKEEPING ACCOUNT	377,900	2.63
オムロン株式会社	355,080	2.47

（注）「持株比率」は自己株式（80,570株）を控除して計算しております。

5. 株式の分布状況

（所有者別）



海外子会社　事務所開設（台中事務所）のお知らせ

SUN-WA TECHNOS（TAIWAN）CO., LTD.（サンワテクノス台湾）において、以下の通り台湾台中市に事務所を開設いたしました。

【名称】
台湾珊華科技股份有限公司　台中事務所
SUN-WA TECHNOS（TAIWAN）CO. , LTD. Taichung Office
サンワテクノス台湾　台中事務所

【住所】
台湾台中市文心路二段201號16樓之２　順天経貿廣場
16F.-2, No.201, Sec. 2, Wenxin Rd. , Xitun Dist., Taichung City 407, Taiwan (R.O.C.)

電話番号：（+886）４−2258−2560
FAX番号：（+886）４−2258−2561

【開設日】
平成26年3月13日（木）

第4回 国際スマートグリッドEXPOに出展

平成26年2月26日（水）～28日（金）、東京ビッグサイトで開催されたスマートエネルギーWeek 2014「第4回 国際スマートグリッドEXPO」に出展いたしました。

本展示会では“生産性を向上し、人に優しい環境を”をテーマに、環境エネルギー事業をはじめとして、介護・医療、農業まで多様な分野のエネルギー改善を実感できる体験型展示にて、最適製品の提案を行いました。

個人投資家様向け会社説明会（東京）を開催

平成25年12月７日（土）に日経ホール（東京）で開催された日本経済新聞社主催による「個人投資家向け会社説明会」に参加いたしました。

当日は約500名の個人投資家の皆様が来場され、山本社長より会社概要、第８次中期経営計画（JUMP1200）、業績、株主様への利益還元について説明いたしました。

当社では、このような会社説明会はもとより、様々なIR活動を通して、投資判断に必要な情報開示を積極的に適時継続して行い、証券市場での知名度向上及び安定的な個人株主の増加を図っております。

なお、当説明会の資料は当社ホームページ（http://www.sunwa.co.jp/）でご覧いただけます。

■今後の開催予定
平成26年11月15日（土）　金沢地区
平成26年12月　6日（土）　東京地区
開催日が近づきましたら、ホームページ（http://www.sunwa.co.jp/ir/calendar）へ詳細を掲載いたします。

IR放送のご案内

IR活動の一環として、ラジオNIKKEIの番組に山本社長が出演しております。
放送内容は当社の事業概要、特徴、業績、第８次中期経営計画（JUMP1200）など。
なお、ラジオNIKKEIのホームページにて動画の配信も行っております。
（詳細はラジオNIKKEIホームページをご覧ください。http://market.radionikkei.jp/8137ir/）

■ラジオNIKKEI 第１　16時15分頃～
「ザ・マネー」内コーナー「サンワテクノスIR特集」

放送日

第１回　平成26年　6月　4日（水）終了	第２回　平成26年7月30日（水）予定
第３回　平成26年11月12日（水）予定	第４回　平成27年2月　4日（水）予定

第１回は放送終了し、オンデマンドで配信中です。